



滝川市地域おこし協力隊  
2年目  
吉村 みさきさん  
(西町/21歳)

## たくさんの果樹を育ててみたい!

昨年春、札幌の専門学校を卒業後、滝川市の地域おこし協力隊となった吉村みさきさん。1年前は真っ青だった作業着が、ほころびや土の跡が目立つほどに。市内の果樹農家でリンゴ栽培を中心にさまざまなことを学んできた吉村さんに、この1年の活動についてお話を伺いました。

**牛** や馬に関わる仕事に興味があり、札幌にある農業の専門学校に通いました。学校では牛や馬だけでなく野菜や果樹など農業の一通りを学びましたが、いざ動物と向き合ってみると上手くコミュニケーションが取れず、先生から「吉村さんは優しすぎて、牛や馬の飼育には向いていない」と言われてしまいました。その後、果樹栽培を学ぶうちに、自分のペースでコツコツとできる作業が楽しく感じ、これなら自分に向いているのではと思えるようになりました。農業分野で新事業を展開しようとしていた一般企業への就職も内定していましたが、リンゴ栽培の技術習得や6次産業化を目指す滝川市の取り組みに興味を持ったことがきっかけで、地域おこし協力隊に応募しました。

滝川市は全く知らない土地でしたが、今は毎日のように滝川果樹協会の皆さんにご指導をいただきながら、リンゴの栽培について楽しく学んでいます。祖父母ほど歳の離れた農家の皆さんに「みさきちゃん」と呼んでいただき、とてもかわいがってもらっています。皆さん本当に優しく、作業以外のときにも遊びにおいでと声を掛けていただき、

たまに寄らせていただくこともあります。滝川市は温かい人が多いまちだなという印象です。

この1年、リンゴの栽培はもちろん、野菜やサツマイモの定植、稲作の手伝いのほか、北海道立農業大学校の研修にも行かせていただきました。イベントではリンゴの特徴や種類などを説明しながら、物販のお手伝いをしましたが、農家の皆さんが大切に育てたリンゴを買っていただけたときは、まるで私が作ったかのようにうれしかったですね。

最近では、色んなことを学ぶうちに、ブルーベリーやプルーンなど、リンゴ以外の果樹も育ててみたいと思うようになりました。また、滝川産のリンゴを使った商品開発にも挑戦してみたいです。なかなか良いアイデアは浮かびませんが、皆さんがあっと驚くような商品を作りたいです。

滝川市だけの話ではないと思いますが、果樹農家も高齢化が進み、人手不足や後継者不足が深刻だと感じています。私の活動は、時々Facebookで公開していますが、もっと若い人にも果樹の魅力を伝えられるよう、これからもたくさんのことを学んで発信していきたいと思っています。

人口 40,523人(前月比:▲252) / 男 19,139人 / 女 21,384人 / 世帯数 21,395世帯 (平成30年3月31日現在)

## 広報たきかわ 2018. 5

◆滝川市役所インフォメーション  
〒073-8686 北海道滝川市大町1丁目2番15号  
TEL 0125-23-1234・FAX 23-5775  
e-mail info@city.takikawa.hokkaido.jp  
ホームページ http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/  
携帯電話サイト http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/m/

携帯サイト(スマートフォン)の方はホームページをご利用ください

この広報紙は道産間伐材を使用しています。

◆今月号から新体制になったことに伴い、編集後記の名前の表記をひらがなに変更。私と同じやから始まる山さん、6年間大変お疲れさまでした!さん、これからよろしくお願ひします。や  
◆ピカピカの一年生をドキドキしながら初取材しました。広報紙を作るのがこんなにも大変だったとは…。市民に寄り添った広報紙作りを目指して「初取材 震える手から 笑顔の一枚」(字余り)  
◆今月の特集は高齢者の運転についてでしたが、自分自身も将来スムーズに手放すことができるかと考えると少し不安…。早いうちから車にどっぴりの生活を見直したほうが良いかもしれませぬ。

編集後記